

# 四半期報告書

(第30期第3四半期)

自 平成26年9月1日

至 平成26年11月30日

株式会社 **メディカル一光**

---

# 四 半 期 報 告 書

---

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書を末尾に綴じ込んでおります。

**株式会社メディカルー光**

# 目 次

	頁
【表紙】 .....	1
第一部 【企業情報】 .....	2
第1 【企業の概況】 .....	2
1 【主要な経営指標等の推移】 .....	2
2 【事業の内容】 .....	2
第2 【事業の状況】 .....	3
1 【事業等のリスク】 .....	3
2 【経営上の重要な契約等】 .....	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】 .....	3
第3 【提出会社の状況】 .....	4
1 【株式等の状況】 .....	4
2 【役員の状況】 .....	5
第4 【経理の状況】 .....	6
1 【四半期連結財務諸表】 .....	7
2 【その他】 .....	14
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】 .....	15

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成27年1月14日

**【四半期会計期間】** 第30期第3四半期（自平成26年9月1日 至平成26年11月30日）

**【会社名】** 株式会社メディカルー光

**【英訳名】** Medical Ikkou Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 南野 利久

**【本店の所在の場所】** 三重県津市西丸之内36番25号

**【電話番号】** 059-226-1193（代表）

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長兼経理財務部長 酒向 良弘

**【最寄りの連絡場所】** 三重県津市西丸之内36番25号

**【電話番号】** 059-226-1193（代表）

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長兼経理財務部長 酒向 良弘

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第3四半期 連結累計期間	第30期 第3四半期 連結累計期間	第29期
会計期間	自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日	自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日	自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日
売上高 (千円)	16,901,626	19,541,630	22,873,542
経常利益 (千円)	872,002	956,887	1,200,634
四半期(当期)純利益 (千円)	496,530	642,055	685,745
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	516,058	687,086	783,125
純資産額 (千円)	5,446,031	6,232,474	5,713,098
総資産額 (千円)	17,231,801	21,979,595	17,729,537
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	259.13	335.08	357.88
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	31.6	28.4	32.2

回次	第29期 第3四半期 連結会計期間	第30期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日	自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	80.51	111.42

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(ヘルスケア事業)

当社の連結子会社である株式会社ヘルスケア・キャピタルが、平成26年3月に有限会社三重高齢者福祉会の全株式を取得し子会社としております。また、平成26年4月に株式会社ハピネライフケアの全株式を取得し子会社としております。これにより、有限会社三重高齢者福祉会、株式会社ハピネライフケア及びその子会社3社を連結の範囲に含めております。

この結果、平成26年11月末現在では、当社グループは、当社、子会社15社及びその他の関係会社1社により構成されております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなど緩やかな回復基調にありましたが、消費税率引き上げ後の個人消費に弱さがみられることや海外景気の下振れが懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

また、主力の調剤薬局事業におきましては、昨年4月に行われました調剤報酬改定及び薬価改定により、過去にない厳しい事業環境となりました。

このような中、当社グループは、超高齢社会の進展に伴い医療・介護サービスの需要は拡大するものと捉え、調剤薬局事業におきましては安全性を最優先とし、ヘルスケア事業におきましてはこれまで行ってきました先行投資の効果を発現するための体制整備を進めつつ、事業規模の拡大に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高19,541百万円(前年同期比15.6%増)、営業利益965百万円(前年同期比5.2%増)、経常利益956百万円(前年同期比9.7%増)、四半期純利益は642百万円(前年同期比29.3%増)となり、前年同期に比べ増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、当第3四半期連結累計期間に新規出店及びM&Aにより5店舗を開局し、1店舗を閉局いたしました。これにより、店舗総数は、前期(平成26年2月期)末比4店舗増加し91店舗となりました。

当期間における新店舗及び前期に出店した6店舗が寄与し、売上高15,823百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益1,177百万円(同5.3%増)となりました。

#### ② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、昨年3月に有限会社三重高齢者福祉会(三重県)、同4月に株式会社ハピネライフケア(鳥取県)をグループ会社化し、また、同11月に介護付有料老人ホーム「ハーモニーハウス津アネックス」(三重県)を開設いたしました。これらにより、居住系介護施設は21施設、760床(前期末9施設、450床)となりました。

既存施設における入居者数の増加に加え、新規取得した子会社が寄与したことにより、売上高2,705百万円(前年同期比139.9%増)、営業利益150百万円(同143.8%増)となりました。

#### ③ 医薬品卸事業

医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品使用促進策に沿って市場規模が拡大する中で積極的な営業を展開した結果、売上高946百万円(前年同期比22.5%増)、営業利益87百万円(同28.6%増)となりました。(内部売上を含む売上高は1,325百万円となり、前年同期比で20.4%増加しました。)

#### ④ 不動産事業

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高65百万円(前年同期比23.5%増)、営業利益45百万円(同69.5%増)となりました。

投資事業におきまして、投資有価証券売却益139百万円の計上を含め、効率的な運用成績を収めております。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,000,000
計	6,000,000

###### ② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年1月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,035,000	2,035,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,035,000	2,035,000	—	—

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年9月1日～ 平成26年11月30日	—	2,035,000	—	917,000	—	837,050

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

平成26年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 118,900	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,916,000	19,160	—
単元未満株式	普通株式 100	—	—
発行済株式総数	2,035,000	—	—
総株主の議決権	—	19,160	—

② 【自己株式等】

平成26年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社メディカルー光	三重県津市西丸之内36番25号	118,900	—	118,900	5.84
計	—	118,900	—	118,900	5.84

2 【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。  
(役職の異動)

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
代表取締役専務取締役 管理本部担当 兼 総合企画部担当	代表取締役専務取締役 管理本部長	櫻井 利治	平成26年8月27日
取締役 管理本部長 兼 社長補佐 兼 社長室長 兼 経理財務部長 兼 開発部担当	取締役 社長補佐 兼 社長室長 兼 経理財務部長	酒向 良弘	平成26年8月27日
取締役 営業渉外本部長 兼 グループ渉外部長	取締役 営業渉外本部長 兼 グループ事業推進部長	迫間 祥浩	平成26年8月27日



## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年9月1日から平成26年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

# 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,059,556	4,975,165
売掛金	2,582,066	3,096,205
商品	922,458	1,055,941
その他	253,591	443,506
貸倒引当金	△1,100	△1,300
流動資産合計	7,816,572	9,569,519
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,272,615	5,678,582
土地	1,964,426	2,639,771
その他（純額）	242,649	588,968
有形固定資産合計	6,479,691	8,907,321
無形固定資産		
のれん	971,232	990,755
その他	210,093	250,674
無形固定資産合計	1,181,325	1,241,430
投資その他の資産		
投資有価証券	929,669	975,885
敷金及び保証金	517,139	586,194
その他	805,138	699,244
投資その他の資産合計	2,251,946	2,261,323
固定資産合計	9,912,964	12,410,075
資産合計	17,729,537	21,979,595
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	7,397	10,275
買掛金	3,181,590	3,346,769
短期借入金	—	295,800
1年内返済予定の長期借入金	1,822,061	2,467,922
未払法人税等	345,009	322,085
賞与引当金	130,393	9,697
その他	461,032	1,174,606
流動負債合計	5,947,485	7,627,155
固定負債		
長期借入金	5,402,117	7,150,145
退職給付引当金	371,407	423,360
その他	295,427	546,458
固定負債合計	6,068,953	8,119,964
負債合計	12,016,438	15,747,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	3,991,418	4,465,816
自己株式	△199,265	△199,317
株主資本合計	5,546,203	6,020,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,895	211,926
その他の包括利益累計額合計	166,895	211,926
純資産合計	5,713,098	6,232,474
負債純資産合計	17,729,537	21,979,595

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	16,901,626	19,541,630
売上原価	15,082,197	17,309,426
売上総利益	1,819,428	2,232,204
販売費及び一般管理費	901,111	1,266,292
営業利益	918,316	965,912
営業外収益		
受取利息	541	1,373
受取配当金	8,560	13,932
権利金収入	—	30,171
業務受託料	2,798	3,588
助成金収入	900	5,794
その他	4,427	16,615
営業外収益合計	17,227	71,476
営業外費用		
支払利息	51,482	67,219
その他	12,059	13,281
営業外費用合計	63,541	80,501
経常利益	872,002	956,887
特別利益		
固定資産売却益	—	955
投資有価証券売却益	22,696	139,573
負ののれん発生益	—	54,640
補助金収入	52,221	17,983
保険解約返戻金	—	28,834
特別利益合計	74,917	241,987
特別損失		
固定資産売却損	729	—
固定資産除却損	515	11,075
減損損失	—	※1 10,427
固定資産圧縮損	52,221	17,751
役員退職慰労金	—	55,016
賃貸借契約解約損	1,000	—
特別損失合計	54,466	94,271
税金等調整前四半期純利益	892,452	1,104,603
法人税、住民税及び事業税	466,500	579,913
法人税等調整額	△70,577	△117,365
法人税等合計	395,922	462,547
少数株主損益調整前四半期純利益	496,530	642,055
四半期純利益	496,530	642,055

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	496,530	642,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,528	45,031
その他の包括利益合計	19,528	45,031
四半期包括利益	516,058	687,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	516,058	687,086

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、新たに子会社となった有限会社三重高齢者福祉会、株式会社ハピネライフケア、株式会社ハピネライフケア鳥取、有限会社ハピネカンパニー、株式会社ケアスタッフを連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

下記の団体の金融機関からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
医療法人財団公仁会	85,170千円	59,095千円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 減損損失

当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	減損損失(千円)
愛知県 1件	店舗	建物及び構築物、投資 その他の資産(その他)	10,427

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最少単位として主に店舗を基本単位とし、不動産事業に係る資産及び遊休資産については個別物件を基本単位としてグループ化しております。

営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額10,427千円を減損損失として特別損失に計上いたしました。その内訳は建物及び構築物10,067千円、投資その他の資産(その他)360千円であります。

なお、資産の回収可能価額は使用価値により測定し、その帳簿価額全額を減額しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
減価償却費	275,331千円	398,242千円
のれんの償却額	76,661千円	87,764千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 取締役会	普通株式	95,805	50	平成25年2月28日	平成25年5月1日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月28日 取締役会	普通株式	110,175	57.50	平成26年2月28日	平成26年5月2日	利益剰余金
平成26年9月17日 取締役会	普通株式	57,482	30.00	平成26年8月31日	平成26年11月4日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,947,342	1,127,772	773,280	53,231	16,901,626	—	16,901,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	274	327,984	—	328,258	△328,258	—
計	14,947,342	1,128,046	1,101,264	53,231	17,229,884	△328,258	16,901,626
セグメント利益	1,117,808	61,901	68,387	26,695	1,274,793	△356,476	918,316

(注) 1 セグメント利益の調整額△356,476千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用365,556千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,823,263	2,705,654	946,994	65,717	19,541,630	—	19,541,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	274	378,719	24,300	403,293	△403,293	—
計	15,823,263	2,705,929	1,325,713	90,017	19,944,924	△403,293	19,541,630
セグメント利益	1,177,189	150,920	87,912	45,254	1,461,277	△495,364	965,912

(注) 1 セグメント利益の調整額△495,364千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用535,187千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	259円13銭	335円08銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	496,530	642,055
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	496,530	642,055
普通株式の期中平均株式数(株)	1,916,100	1,916,086

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。



## 2 【その他】

平成26年9月17日開催の取締役会において、平成26年8月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

① 配当金の総額	57,482千円
② 1株当たりの金額	30円00銭
③ 支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成26年11月4日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年1月8日

株式会社メディカルー光  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 水 野 信 勝 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 浅 井 明 紀 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社メディカルー光の平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成26年9月1日から平成26年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社メディカルー光及び連結子会社の平成26年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。